

令和6年度 第3学年 理科 年間指導計画・評価規準

1 評価方法

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
項目	自然の事物・現象についての観察、実験などを行うことを通して、自然の事物・現象に対する概念や原理・法則の理解を図るとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けている。	自然の事物・現象の中に問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行って、得られた結果を分析して解釈し、探究の過程を振り返るなど、科学的に探究している。	自然の事物・現象と進んで関わり、主体的に探求しようとしている。

2 年間指導計画

学期	月	単元名	時数	学習内容	評価規準と評価の観点
1 学期	4	水溶液とイオン	8	さまざまな水溶液に電流を流し、水溶液の特性とイオンについて学習する。	イオンについて、考え、化学式で表そうとしている。
	5	酸、アルカリとイオン	10	酸性とアルカリ性の性質について、実験から学習する。また、混ぜた時の変化について調べる。	酸性・アルカリ性の性質について考えて、実験から学習する。また、混ぜ、中和について理解している。
	6	化学変化と電池	5	金属イオンと電池の原理について学習する。	金属と水溶液の反応について理解し、電池の原理について考えることができる。
	(4)	生物の成長と生殖	10	細胞から、有性生殖と無性生殖について学習する。	生殖のちがいについて理解し、それぞれの特徴について考えることができる。
	(7)	遺伝の規則性と遺伝子	9	メンデルの法則から、遺伝の規則性について学習する。	遺伝の規則性から、表現型と遺伝子型について表すことができる。
	6	星空をながめよう	2	宇宙、太陽と月について学習する。	太陽系について、見通し太陽の特徴について考えることができる。
	7	地球の運動と天体の動き	10	地球から見た天体の動きと季節による天体の動きについて学習する。	透明半球から、太陽の動きについて表すことができる。地球と太陽の位置関係について考えることができる。
2 学期	(9)	生物の多様性と進化	6	生物の歴史と化石から進化について学習する。	進化と生物の多様性について考えることができる。
	9	物体の運動	10	物体の運動のようすから、速さのちがいについて学習する。	実験条件から、速さと移動距離のちがいを表すことができる。
	10	力のはたらき方	8	力の合成、慣性、作用・反作用について学習する。	2力の合成、作用・反作用を示すことができる。

	11	エネルギーと仕事	13	仕事と力学的エネルギーについて学習する。	力学的エネルギーの関係について理解し、仕事を表すことができる。
	12	月と金星の見え方	8	月の動きと日食月食、金星について学習する。	月と金星、太陽の位置関係からどのように満ち欠けをするか考えることができる。
	12	宇宙の広がり	4	太陽系と銀河系について学習する。	太陽系の天体について理解することができる。
	(11)	自然のなかの生物	6	生態系と炭素循環について学習する。	炭素循環と人間生活について、かかわりをもって考えることができる。
3 学 期	1	自然環境の調査と保全	10	自然環境と人間の関りについて調べる。	人間生活と自然環境について考え、科学的な視点で問題解決する方法を見出すことができる。
	2	科学技術と人間	11	物質の利用、科学技術、エネルギー資源の関りについて学習する。	科学技術による正負の両側面から考えることができる。
	3	持続可能な社会をつくるために	10	地球環境と人間の関り方、SDGsについて考える。	これからの人間生活、未来についてどのように関わることができるか、科学的根拠をもとに考え、表すことができる。

*3年生では理科A：年間105時間、理科B：年間35時間あります。

**（）は理科Bでの取扱いとなります。